

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 }	事業進捗状況				事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費		進捗率					
							うち工事費	進捗率	事業進捗内容					
							うち用地費	進捗率	目標年					
森林整備事業	1	森林基幹道西出管合線	大台町・大紀町		<p>[全体事業概要] 利用区域面積1,022ha 幅員 4.0m 延長 13,462m</p> <p>[事業目的] 地域の路網形成の骨格となる基幹林道と位置づけ、利用区域森林内の林道や作業道と一体的な路網の形成を図ることによって、森林施業の効率化、木材搬出コストの削減を図り、林業活動の活性化を図るとともに、治山事業や森林環境創造事業等により、森林の持つ公益的機能が高度に発揮されるような適正管理を促進します。</p>	H9	2,271	67.5%	H9大台町地内から着手 開設延長 9,460m (進捗率70.3%)	<p>【関連町の変化】 ・平成12年に比べ、旧大台町の人口は1.2%減少し、65歳以上の高齢者の占める割合が2.6%上がりました。旧大宮町の人口は3.8%減少し、高齢化率は4.0%上がりました。 ・大台町は平成18年1月に宮川村と、また大紀町は平成17年12月に大宮町、紀勢町、大内山村の3町村が合併しました。 【森林・林業・社会経済情勢の変化】 ・県内の林業情勢は、材価の安値安定により森林所有者の林業経営意欲が低下しています。また、所有者の高齢化や不在村所有者の増加により所有境界が不明確になってきています。 ・平成17年10月に「三重の森林づくり条例」が施行され、これを受けて平成18年3月に、4つの柱とする「みえの森林づくり基本計画」を定めました。</p>	<p>【費用便益分析結果】 林道開設効果により、間伐等の森林整備が計画を前倒しして実施されたことや、長伐期化に伴う間伐の適期を～年齢から～年齢に変更したため、森林施業が増加し便益があがったことにより、B/Cが前回(平成14年度)1.37に比べ今回1.93に向上しています。 【コスト縮減】 従来のコンクリート擁壁から補強土壁工への変更、路肩の縮減、地形にあった線形の採用を積極的に活用し、土工量と法面保護工を減らすことによりコスト縮減を図っています。 【代替案の可能性】 当路線の利用区域内の森林整備を図る必要があることから、当林道を開設する以外、代替案はありません。</p>	<p>コスト縮減と環境配慮に努めながら早期完成を目指し事業継続します。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、今後林道の費用対効果の説明において、森林整備経費縮減等便益の内訳についても説明及び資料の提出を求める。</p>	
							2,271	67.5%						
						H26	-	-						

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況				事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費		進捗率					
							うち工事費		進捗率					
							うち用地費		進捗率					
河川事業	2	二級河川朝明川 広域基幹河川改修事業	四日市市、川越町、朝日町		<p>[全体事業概要]                      全体事業費 105.88億円                      計画延長 L=9,918m                      ・掘削工 V=853,760m<sup>3</sup>                      ・護岸工 L=19,884m                      ・橋梁工 10橋                      ・井堰工 3基</p> <p>[事業目的]                      朝明川沿川の浸水被害防止を目的に、河床掘削、嵩上げ等の改修により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。</p>	S49	10,588	41.6%	<p>[実施事業内容]                      ・掘削工 V=84,185m<sup>3</sup>                      ・護岸工 L=13,842m                      ・橋梁工 6橋</p> <p>[以降事業内容]                      ・掘削 V=769,575m<sup>3</sup>                      ・護岸工 L=6,042m                      ・橋梁工 4橋                      ・井堰 3基</p>	<p>(周辺環境の変化)                      第二名神の開通などにより流域及び氾濫区域内の開発が進んでいます</p> <p>(経済的变化)                      公共事業予算削減により事業費の確保が厳しくなっています</p>	B/C = 394.65 氾濫区域内資産の増加などに伴い費用対効果が増加しています 河床掘削等による発生土を近隣の他事業に流用する等してコスト縮減に努めます 代替案は現実的側面からありません	厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。	事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、河川事業は、安全・安心に関わる事業であるため、事業効果を早期発現するための方策を立てるよう求めるものである。	
							9,960	41.8%						
						H45	628	38.6%						

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進める社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等			
							総事業費	進捗率					事業進捗内容		
														うち工事費	進捗率
河川事業	3	一級河川芥川 総合流域防災事業	鈴鹿市		<p>[全体事業概要]                      全体事業費 49.40億円                      計画延長 L=1,800m                      ・築堤工 L=3,600m                      ・掘削工 V=93,360m<sup>3</sup>                      ・護岸工 L=3,600m                      ・樋門・樋管 1基                      ・床止工 1基                      ・橋梁工 5橋</p> <p>[事業目的]                      芥川沿川の浸水被害防止を目的に、河川の拡幅等の改修により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。</p>	S60	4,940	52.7%	<p>[実施事業内容]                      ・築堤工 L=240m                      ・掘削工 V=13,400m<sup>3</sup>                      ・護岸工 L=364m                      ・橋梁工 2基</p> <p>[以降事業内容]                      ・築堤工 L=3,360m                      ・掘削工 V=79,960m<sup>3</sup>                      ・護岸工 L=3,236m                      ・樋門・樋管 1基                      ・床止工 1基                      ・橋梁工 3基</p>	<p>(護岸工法の変化)                      経済性に優れた直壁護岸工法(大型ブロック積工法)が技術開発されました</p> <p>(経済的变化)                      公共事業予算削減により事業費の確保が厳しくなっています</p>	<p>B/C = 13.42                      コスト削減による事業費の削減により費用対効果が増加しています                      新工法の積極的な採用により更なるコスト削減に努めます                      代替案は現実的側面からありません</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、河川事業は、安全・安心に関わる事業であるため、事業効果を早期発現するための方策を立てるよう求めるものである。</p>		
							2,697	30.6%							
						H40	2,243	79.4%							

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進捗させる社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト削減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率				
							うち工事費	進捗率				
							うち用地費	進捗率				
河川事業	4	二級河川 檜山路川 総合流域 防災事業	志摩市		<p>[全体事業概要]                      全体事業費 15.5億円                      計画延長L=990m                      築堤工 L=1,550m                      掘削工 L=20,000m<sup>3</sup>                      護岸工 L=1,450m                      橋梁工 6橋                      用地買収 1式</p> <p>[事業目的]                      檜山路川沿川の浸水被害防止を目的に、河川の拡幅と嵩上げ等の改修により流下能力を確保し、治水安全度の向上を図ります。</p>	H6	1,550	48.9%	<p>(周辺環境の変化)                      流域の世帯数および人口は横ばい状態。被災を経験した地元住民の協力により、現在まで順調に事業が進捗している状況にあります</p> <p>(経済的变化)                      公共事業予算削減により事業費の確保が厳しくなっています</p>	<p>B/C = 1.57                      建設発生土の有効利用などによりさらなるコスト削減に努めます。また、地元との調整によって既設橋梁を統合し架け替えることにより事業費の削減に努めます                      代替案は現実的側面からありません</p>	<p>厳しい財政状況であるものの、随時、改修をすすめ治水安全度の向上を図ります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、河川事業は、安全・安心に関わる事業であるため、事業効果を早期発現するための方策を立てるよう求めるものである。</p>
							1,301	33.4%				
						H35	249	93.7%				

平成19年度三重県公共事業再評価箇所一覧表(県事業)

(単位:百万円)

事業名	番号	箇所名	市町名	再評価の理由	全体事業概要と目的	採択年 目標年	事業進捗状況		事業を進捗内容	事業を巡る社会経済状況等の動向	費用対便益分析結果・コスト縮減の可能性・代替案の検討等	今後の事業の見通し	委員会意見等
							総事業費	進捗率					
							うち工事費	進捗率					
							うち用地費	進捗率					
海岸事業	6	的矢港海岸	志摩市		<p>[全体事業概要]</p> <p>[的矢地区] 護岸(補強):1,373m 陸開(改良):7基</p> <p>[三ヶ所地区] 護岸(補強):695m 陸開(改良):2基</p> <p>[目的]</p> <p>当海岸の護岸は、昭和28年の13号台風や昭和34年の伊勢湾台風で被災し、災害復旧されたもので既に約50年が経過し老朽化が著しいため、背後地の住民から一刻も早い施設整備が望まれているところです。当該事業は、この護岸の補強を行うことにより、波浪や高潮等による災害を防除し、護岸背後の生命と財産を守る事業です。</p>	S61	7,529	72.1%	<p>[整備済み内容]</p> <p>[的矢地区] 護岸(補強):992m 陸開(改良):7基</p> <p>[三ヶ所地区] 護岸(補強):695m 陸開(改良):2基</p> <p>[次年度以降の内容]</p> <p>[的矢地区] 護岸(補強):381m</p>	<p>【社会的状況の変化】</p> <p>防護区域は、依然として人家が密集しており、防護の必要性に変化はありません。近年の異常気象に伴う台風の大型化により、各地に甚大な被害を及ぼしています。また、大規模地震の発生が危惧されており、護岸の補強改良の必要性及びその機運は一層高まってきています。また、昨今の公共事業を取り巻く厳しい財政事情により、事業の重点化・効率化を求められています。</p>	<p>【費用対効果分析】</p> <p>[的矢地区] B/C = 3.73 [三ヶ所地区] B/C = 8.22</p> <p>【コスト縮減】</p> <p>施設延長が長く、事業期間が長期にわたることから、各施設を出来るだけ細分化し、より経済的な断面を採用するなど、設計時において可能な限りコストの縮減に取り組んでいます。</p> <p>【代替案】</p> <p>当地区のような、背後に人家が連担している地域にとっては、海岸における護岸はいわゆる生命線です。複雑な地形であるリアス式海岸では、地域住民の安心・安全の生活確保のための工法として、この代替案は考えられず、現計画を進めることが妥当であると判断しています。</p>	<p>【今後の見通し】</p> <p>近年財政状況が厳しい中、三ヶ所地区の完成を目指した投資を行ってきたことから、平成18年度に三ヶ所地区の事業が完了しました。これにより、前回再評価におきまして、平成20年度完成目標としておりました的矢地区については平成33年度の完成を目指してまいります。</p>	<p>事業継続の妥当性が認められたことから事業継続を了承する。ただし、鋼管矢板工法の地下水環境に及ぼす影響を検討すべきである。また、地震及び津波にかかる防災対策との連携を図り、海岸事業の整備効果を高めること、陸開については、過度の機械依存及びヒューマンエラーを回避するような運用をすることを求める。</p>
						H33	-	-					